



広場

市長随筆



後世に伝えたい 五足の靴の旅

与謝野寛ら五足の靴一行が天草を訪れてから、今年でちょうど100年になります。これを記念した「文芸講演会・シンポジウム」が11月10日、天草市民センターで開催され、直木賞作家の久根達郎氏が講演されました。出久根氏は「天草を歩いた5人の旅は、異国情緒にあふれた作品を生んだ日本近代文学の母親であった」と話され、近代文学が生まれるきっかけとなった舞台が天草であったことに大変感動しました。

天草ロザリオ館では現在、5人の詩集や直筆の原稿などを展示、紹介する「五足の靴百周年記念特別展」を開催しています。そのオープニングセレモニーの席上、大江小学校の児童が「龍神太鼓」を披露してくれましたが、演奏に先立ってのあいさつの中で、児童の1人が「音楽の本に出てくる北原白秋が100年前に歩いたこの天草に、今住んでいることを誇りに思います」と話してくれました。

天草の風景やキリシタンにまつわる歴史などを全国に知らしめ、夢と希望を私たちに与えてくれた「五足の靴」の旅を宝の一つとして、後世に伝えていかなければならないと思いを新たにしています。

天草市長 安田 公寛

受賞おめでとうございます

【農林水産大臣表彰】緒方澄雄さん(栖本町馬場・農業委員) 【介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰】【施設の長】開一矢さん(下浦町・介護老人保健施設本渡ケア・ホーム施設長) 【社会福祉功労者厚生労働大臣表彰】【児童福祉施設等従事者(特別表彰)】福富茂美さん(有明町楠浦・楠浦保育所調理員) 【民生委員優良活動団体】本渡北民生委員児童委員協議会【現代の名工】早井武宣さん(栖本町河内・左官) 【海上保安庁長官表彰】濱廣昭さん(楠浦町・灯台の監視)、荒木勝徳さん(新和町・灯台の監視) ※名前の後の()内は住所と主要経歴、受賞理由など。



宝島の健康 よず屋

稲田 保さん
(倉岳町棚底・87歳)

—— 毎日の楽しみは？
48頭の牛を飼っています。子どものころから約80年、牛の世話を続けています。えさやりは1日2回。朝は6時から2時間ほどかかり、一仕事した後に朝食です。最近では孫も手伝ってくれます。また、鹿児島や宮崎まで2トン車を運転して牛の買入れに行くのも楽しみの一つです。

—— 健康の秘訣は？
牛の飼料作物を3ha作っています。その農作業で適度に体を動かすことと、牛のえさやりからはじまる毎日の規則正しい生活が健康の秘訣だと思います。

市民のスポーツ

【第23回九州身体障害者ゲートボール大会】(10月19日、長崎県) [チャンピオン戦] 3位：天草市
【リトルリーグ九州連盟秋季野球大会】(11月4日、長崎県) 優勝：牛深リトルリーグ

熊本県福岡事務所発

ほっと情報便



熊本県福岡事務所 ☎092-737-1313

今回は、福岡市南区の西鉄大橋駅の近くでラーメン店を経営されている、河浦町出身の黒田光四郎さんを紹介しました。黒田さんは、ラーメンの本場・福岡で修業を積まれた後、お店を出されて4年目。

2のゆびと〜まれ



大きなイモがいっぱいどれました

楽しいな！ 野菜づくり

東雲寺保育園

五和地区の東雲寺保育園(梅本綾子園長・全園児66人)では、『きよく・ただしく・あたたかく』を園訓に、心身ともに健康で、思いやりと助け合う心を持った子どもたちの育成に取り組んでいます。

現在、園児たちは、畑で自然との触れ合いを楽しみながら、食育についての関心を深めています。10月には、祖父母とのイモ掘り体験を実施。大きなサツマイモがたくさんとれました。今は、春の収穫に向けてお多福豆やたまねぎなどの野菜づくりを行っています。子どもたちも春が待ち遠しいようです。



5月に行われた相撲大会の様子

伝統行事を楽しむ佐伊津っ子

佐伊津小学校

佐伊津小学校(山下弘司校長・全校児童226人)には、春の「相撲大会」と冬の「竹馬会」という大きな伝統行事があります。相撲大会では、男子ばかりでなく女子も土俵に上がり、ねばり強い取組を見せてくれます。大会は、赤白組に分かれての団体戦と学年別で優勝を目指す個人戦を実施。3年生以上の男子は、本格的に「まわし」を着け、気迫のこもった取組が続きます。竹馬会では、うまくバランスをとりながら竹馬を操り、サッカーボールのドリブルや縄跳び、ハイジャンプなどに挑戦します。これらの行事を通して、地域の伝統・文化の良さを知り、地域を愛する子どもたちが育つことを願っています。

子どもたちの心にも大きな収穫

二浦小学校 長谷哲也校長
全校児童45人)では、豊かな心を育むため、もち米づくりやサツマイモ・落花生の栽培などの体験活動を行っています。

もち米づくりは保護者や地域の方々の協力を得て、モミから苗を育て、田植え、稲刈り、脱穀まで、貴重な体験をしています。収穫したもち米は紅白もちにして、校区民大運動会に参加者全員に感謝の気持ちを含めて配布しました。また、サツマイモは12月に行う収穫祭で「こっぱ餅」にし、学習成果発表会でこれまでお世話になった方々にふるまうことにしています。

これらの体験活動は、子どもたちの心に、きっと大きな収穫があると考えています。

り、脱穀まで、貴重な体験をしています。収穫したもち米は紅白もちにして、校区民大運動会に参加者全員に感謝の気持ちを含めて配布しました。また、サツマイモは12月に行う収穫祭で「こっぱ餅」にし、学習成果発表会でこれまでお世話になった方々にふるまうことにしています。



土の中から落花生を掘り起こす児童

現在のお店は昨年2月にオープンし、店名は天草にちなんで「らーめん四郎」と名付けられました。

1日平均約100人のお客さんが訪れ、お昼や土・日曜日には行列が絶えないほどの人気店で、豚骨ベースのスープに、ニンニクやごま油で作った熊本のマー油を使った九州男味しろうラーメン」は、今年3月に福岡でテレビ放送された「九州ラーメン総選挙」で1位を獲得しました。

黒田さんは「熊本県内や天草出身の方が来店され、応援



▲黒田光四郎さん

していただくことが一番励みになります。私も、天草がもっと元気になるよう盛り上げていきたいです」と話されていました。

福岡へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

▼報告者・木村 英樹
(市職員・県福岡事務所派遣)